

専門分野・小児看護学 授業計画

授業科目及び時間数	小児の疾患 1単位 30時間		
開講時期	2年次 前期		
担当教員	福岡哲也	実務経験	有
<p>&lt;科目のねらい&gt; 健康障害のある小児の疾患・治療の特徴を理解することがねらいである。 &lt;到達目標&gt; 1. 小児看護の実践に必要な小児の各疾患の病態・症状・診断・治療について理解できる。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 染色体異常・先天異常 1) 常染色体異常 2) 性染色体異常 3) 胎芽病と胎児病	講義	
2回目	1. 新生児の疾患 1) 分娩外傷 2) 適応障害 3) 感染症	講義	
3回目	1. 低出生体重児の疾患 1) 脳室内出血 2) 呼吸窮迫症候群 3) 新生児壊死性腸炎 4) 未熟児貧血 5) 未熟児網膜症 他	講義	
4回目	1. 小児の呼吸器疾患 1) 上気道の疾患 2) 気管支・肺・胸腺疾患	講義	
5回目	1. 小児の消化器疾患 1) 横隔膜の疾患 3) 胃・十二指腸の疾患 2) 食道の疾患 4) 小腸・大腸の疾患 他	講義	
6回目	1. 小児の神経疾患 1) 神経系の先天異常 2) けいれん性疾患 3) 中枢神経系の血管性疾患 4) 脳性麻痺 他	講義	
7回目	1. 小児の運動器疾患 1) 先天性股関節脱臼 2) 先天性内反足 3) 先天性筋性斜頸 4) 骨折	講義	
8回目	1. 小児の発達	講義	
9回目	1. 小児の精神疾患と発達障害 1) 発達障害 2) 神経症圏の疾患 他	講義	
10回目	1. 小児の代謝疾患 1) 新生児マスキング 2) 先天代謝異常症 3) 代謝性疾患 2. 小児の内分泌疾患 1) 下垂体疾患 2) 甲状腺疾患 3) 副甲状腺疾患 4) 性腺の異常	講義	
11回目	1. 小児の腎臓・泌尿器疾患及び生殖器疾患 1) 先天性腎尿路異常 2) 糸球体疾患 3) 尿細管間質疾患 4) 慢性腎臓病 5) 急性腎臓病 6) 生殖器・外性器の疾患	講義	
12回目	1. 小児の感染症・ワクチン 1) ウイルス感染症 2) 細菌感染症 3) 真菌感染症 4) ワクチン	講義	
13回目	1. 小児の免疫・アレルギー性疾患 1) アレルギー性疾患 2) 原発性免疫不全症 3) リウマチ性疾患	講義	
14回目	1. 小児の血液疾患と小児癌 1) 貧血 2) 出血性疾患 3) 造血器腫瘍 4) その他の固形腫瘍	講義	
15回目	1. 小児の循環器疾患 1) 先天性心疾患 2) 川崎病 3) 後天性心疾患 4) 心臓律動の異常 5) 突然死	講義	
16回目	終了試験	看護教員	
評価方法	筆記試験 100%		
受講生に対するメッセージ	小児の病気は先天異常や小児特有の病気があります。また、大人と同じ病気でも子どもの機能の未熟性から症状の現れ方が異なります。子どもは病気が良くなるのも悪くなるのも早いです。状況の判断ができる知識を身につけ、異常の早期発見ができるようになりましょう。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論 医学書院		
参考書			